

時をかけるアート 収蔵作品展

2008/04/01[Tue] - 05/18[Sun]

当館では、常設展示室において収蔵品を中心とする小企画を行っています。今回は、作品に描かれた「時」に注目して展示します。

写実的な静物画や風景画に古びた建物や錆びて使われなくなった機具や道具が描かれることはめずらしくありません。それに比べ最新の流行を捉えた油絵が少ないことに気づきます。風景画に新型のスタイリッシュな自動車が描かれたいのは、動くからだけではなく、風景としての雰囲気にとぐわなからかもしれません。つまり、時代を感じさせるものを描くのはノスタルジー(郷愁)からであり、直接その「時」を描こうとしたものではありません。

一方、時代性を強く意識した作品には、その時代を示すあきらかな証が描かれています。昨年メッセージ'2007「南九州の現代作家たち」展で好評だった高嶺格の「憂鬱のア

ンギラス」は、美術の一分野である建築の保存をテーマにした作品で、昨年の市民による文化的な議論を背景にしています。市民会館は、南九州大学による借用依頼により残ることになり、作品の持つメッセージ性がより理解されやすくなりました。今回、高嶺格氏の監修に基づいて再設置を行ないます。高校生やボランティアの協力という中での再設置も人々の記憶に深く刻まれるものと思います。

どのような描き方、造り方をしたとしても作品には、その時代や社会背景が自ずと隠されています。モチーフが直接その「時」を示すものもあれば、モチーフ(題材)自体が今では描かれることが無くなるなど制作自体の栄枯盛衰もあります。制作者が意識しようがしまいが、作品に時代性は付きまっています。普段見慣れた収蔵作品を「時」を映す鏡という視点から展示します。

no	作者名	生年	没年	作品名	制作年	縦	横	支持体	技法	発表・展覧会歴
1	山田新一	1899	1991	湖上客船の女の人		53.0	33.3	キャンバス	油彩	
2	山田新一	1899	1991	湖上客船<習作>		72.8	60.6	キャンバス	油彩	
3	山田新一	1899	1991	[湖のほとりにて]		45.5	38.0	キャンバス	油彩	
4	山田新一	1899	1991	[琵琶湖にて]	1943	45.5	53.0	キャンバス	油彩	
5	山田新一	1899	1991	[雪の韓国岳]		38.0	45.5	キャンバス	油彩	
6	山田新一	1899	1991	[韓国岳]	1955	45.5	53.0	キャンバス	油彩	
7	山田新一	1899	1991	[えびの風景]	1955	38.0	45.5	キャンバス	油彩	
8	山田新一	1899	1991	大淀川		33.4	45.3	キャンバス	油彩	
9	山田新一	1899	1991	[南国風景]		31.8	41.0	キャンバス	油彩	
10	山田新一	1899	1991	[風景(YN-7)]		24.2	33.2	板	油彩	
11	久保俊郎	1945		円の夢(1)	1997	182.0	273.0	キャンバス	アクリル	メッセージ'97「南九州の現代作家たち」展
12	瑛 九	1911	1960	作品	1951	27.5	22.4	紙	フォトデッサン	
13	瑛 九	1911	1960	森のつどい	1951	41.9	50.7	紙	フォトデッサン	
14	マン・レイ	1890	1976	ヌード/ソラリゼーション	c.1930(p.1979)	34.5	25.5	印画紙	ゼラチン・シルバー・プリント	
15	マン・レイ	1890	1976	仮面/ソラリゼーション	1930(pc.1951-76)	29.5	21.0	印画紙	ゼラチン・シルバー・プリント	マン・レイと世界写真歴史展(ソウル)
16	マン・レイ	1890	1976	アリエのマルセル・デュシャン/<回転ガラス板>	c.1920(p.1980)	37.7	27.1	印画紙	ゼラチン・シルバー・プリント	マン・レイと世界写真歴史展(ソウル)

時をかけるアート 収蔵作品展

no	作者名	生年	没年	作品名	制作年	縦	横	支持体	技法	発表・展覧会歴
17	マン・レイ	1890	1976	埃の培養	1920(cc.1951-76)	20.3	40.7	印画紙	ゼラチン・シルバー・プリント	マン・レイと世界写真歴史展(ソウル)
18	光野浩一	1965		MEMORIES:1987 から 1996	1996			インステレーション	FD,VTRカセットテープ,CD 他パン	メッセージ'97「南九州の現代作家たち」展
19	緒方良信	1948		水紋90	1986	99.5	32.0	大理石		バリ画商展(1987 イタリア)
20	雨田 正	1914	1995	高岡展望(天ヶ城)	1992	36.0	51.4	紙	水彩	個展(1992 九電イリス宮崎)
21	川越彌録	1917		ボロ石山眺望	1948	53.5	71.3	紙	水彩	新宮崎美術協会展(教育会館)
22	大野重幸	1900	1988	菱野	1974	170.2	215.3	額	紙本彩色	第59回院展(1974)
23	大野重幸	1900	1988	通潤橋	1975	215.6	170.3	額	紙本彩色	第60回院展(1975)
24	益田玉城	1881	1955	南の生命線に立てる日本女性	1938	258.0	143.5	額	絹本彩色	第2回新文展
25	益田玉城	1881	1955	現代隅田川風景	1933	218.0	140.0	額	絹本彩色	
26	彌勒祐徳	1919		第3回南のうたとおどりポスター原画		94.0	58.1	紙	水彩	
27	塩水流 功	1924	1996	早くおいで	1976	65.5	80.6	キャンバス	油彩	個展(1976 東京 飯田画廊)
28	原田 茂	1936		ある日	1982	130.4	162.0	キャンバス	油彩	第30回市美展 大賞(1982 都城市立美術館)
29	野見山暁治	1920	2000	太古の話	1988	82.5	71.0	リトグラフ30/70		
30	吉田義生	1940		空間球	1986	58.6	83.0	紙	インク、色鉛筆	滞欧選抜作品展(1992 都城市立美術館)
31	松本英一郎	1932	2001	退屈な風景 No.19(浮遊体)	1979	89.4	145.5	キャンバス	油彩	
32	野口徳次	1908	1999	縄文桜				キャンバス	油彩	
33	大野重幸	1900	1988	関之尾の甌穴		149.3	361.3	額	紙本彩色	
34	上田雄二	1954		家譜	1991	130.2	162.3	アクリル キャンバス		第40回市美展特別賞(1992 都城市立美術館)
35	河野宗平	1957		衝(星夜)	1999	171.0	131.6	合板にキャンバス	混合素材	
36	中村芳雄	1950	1996	風化	1978 頃	116.5	80.4	キャンバス	油彩	東光会展
37	西喜美郎	1929		岩見岳	1983	91.3	116.8	キャンバス	油彩	第31回市美展(1983 都城市立美術館)
38	坂本正直	1914		馬、兵隊、輸送船に乗せられて	2004	193.9	130.3	キャンバス	油彩	第56回宮日総合美術展覧会 2004
39	長友高弥	1958		土に帰る日Ⅱ	1993	161.7	161.7	パネル	アクリル	第41回市美展 特別賞(1993 都城市立美術館)
40	山田藤男	1921		須田記念館	1949	45.4	53.0	キャンバス	油彩	第1回県展(1949 宮崎大宮高等学校)
41	高嶺 格	1968		憂鬱のアンギラス	2007	900.0	900.0		インスタレーション	メッセージ 2007 南九州の現代作家たち